

2021年度
能力強化研修

栄養改善人材養成
(マルチセクショナルアプローチに向けて)

2021年9月27日(月)～10月1日(金)

募集要項



※当研修はオンラインで実施します。

独立行政法人 国際協力機構
人事部開発協力人材室

はじめに

現在、5歳未満児の年間死亡者数530万人のうち、約半数が何らかの栄養不良に起因していると言われています。一方、途上国を含む世界各国では子どもの過剰栄養が増加しています。低体重や微量栄養素欠乏症に見られる低栄養及び肥満等を引き起こす過剰栄養は、いずれも人間の生命・健康に大きな影響を及ぼします。特に、胎児期から2歳までの1000日間の低栄養は身体的・知的発達に遅れを引き起こす他、その後の就学状況や得られる収入にも影響を及ぼすと言われています。

こうした背景のもと、2009年に日本政府が世界銀行に「栄養不良対策スケールアップ信託基金」を設置し、200万ドルを拠出したことを皮切りに、Scaling Up Nutrition (SUN)運動が発足しました。SUNは栄養課題を抱える加盟国だけでなく、ドナー、民間企業、市民社会が連携して、保健・農業・水・教育等セクター横断的に栄養問題に取り組むことを推進しています。2014年には第2回国際栄養会議が開催され、栄養改善の宣言と2025年までの行動計画が採択されました。また2016年、国連総会では、2016～2025年が「栄養のための行動の10年」と宣言されました。今後は本邦において東京栄養サミットの開催も予定されており、国内外にて栄養改善に向けた機運がますます高まっています。

一方、JICAは、持続可能な開発目標の目標2に掲げられた飢餓の撲滅、栄養の改善等を達成すべく、アフリカにおいて、新たに「食と栄養のアフリカ・イニシアチブ(IFNA)」を立ち上げ、2016年8月にケニア・ナイロビにおいて開催されたTICAD VIでIFNA宣言が採択されました。2019年に開催されたTICAD VIIでは、「IFNA横浜宣言2019」を採択し、IFNAの取り組みを全アフリカに拡大し、アフリカの2億人の子どもたちの栄養改善に向けたアクションを呼びかけました。

また、JICAは母子保健や農村開発等の分野で途上国での栄養改善に取り組んできました。2006年度以降、JICA海外協力隊として栄養士をはじめ栄養に関わる技術を有する人材を400名以上派遣しています。近年では、日本の民間企業と連携して栄養食品の開発関連調査を実施した他、SUN加盟国を対象とした栄養改善に係る課題別研修を立ち上げ、取り組みを強化しています。今後は、保健・農業・農村開発・水・衛生・教育等のセクターあるいはセクター横断的な事業で、栄養改善の視点を入れた案件形成及び実施が期待されていますが、それを進めることができる栄養改善の知識を持つ人材の不足が懸念されています。特に、農業食糧安全保障と栄養分野におけるマルチセクトラルな人材を養成していくことが急務となっています。

本コースは、保健・農業・農村開発・水・衛生・教育等の分野での実務経験をもった方々を対象に、国際的な栄養改善の潮流と途上国における栄養不良の傾向及びその対策を理解し、今後同分野あるいはセクター横断的な支援事業において、栄養改善の視点を入れた協力内容の策定及び実施に必要な知識を習得することを目的として実施します。

本研修は、上記講義に加えて、各セクターにおける栄養改善の取り組み事例の紹介や、演習など、実践的な内容となっています。参加者の皆様が、それぞれの知見を持ち寄って、本研修を通じて活発な意見交換を行っていただけるよう、開発コンサルタント等国際協力関係団体の方のみならず、食・栄養分野での開発途上国等への事業展開を検討されている民間企業関係者のご参加も歓迎いたします。

1. 研修コース名、研修期間、募集人数

(1) 研修コース名: 栄養改善人材養成(マルチセクトラルアプローチに向けて)

(2) 期間: 2021年9月27日(月) ~ 10月1日(金) (5日間)

(3) 募集人数: 20名程度

(一般公募による参加者とは別に、JICA内部からも機構内正規受講者として若干名、研修参加者を募集する予定)

2. 応募要件

下記の全ての要件を満たす方とします。

(1) 将来、保健・農業・農村開発・水・衛生・教育等のセクターあるいはセクター横断的な支援事業において、栄養改善の視点を入れた JICA 事業(民間連携事業を含む)の案件形成及び実施に携わる可能性・意志があること

(2) 研修の全日程に参加可能であること(修了証発行は全日程参加が条件となります)

(3) 専門能力・経験

保健・農業・農村開発・水・衛生・教育等の分野での実務経験を5年程度以上有すること(開発コンサルタント等国際協力関係団体のみならず、医療機関、民間企業、自治体、研究機関等含む。途上国での実務経験があると望ましい)

(4) 語学力

基本的にコースは日本語で行われるが、原則として、以下の語学力を有すること(一部の演習は英語で実施)

英検準1級、TOEIC730点、TOEFL CBT213点/iBT79点、国連英検B級以上

※専門家語学ガイドラインAレベル(高いコミュニケーション能力が求められる案件の専門家に求められる語学力)基準

※保持している語学力に係る公的資格を、履歴書に必ず記載すること(取得年月が新しいものを優先。取得年月も記載すること)

3. 研修会場

本研修はインターネット上でオンラインの形式(Zoom 使用予定)で開催します。

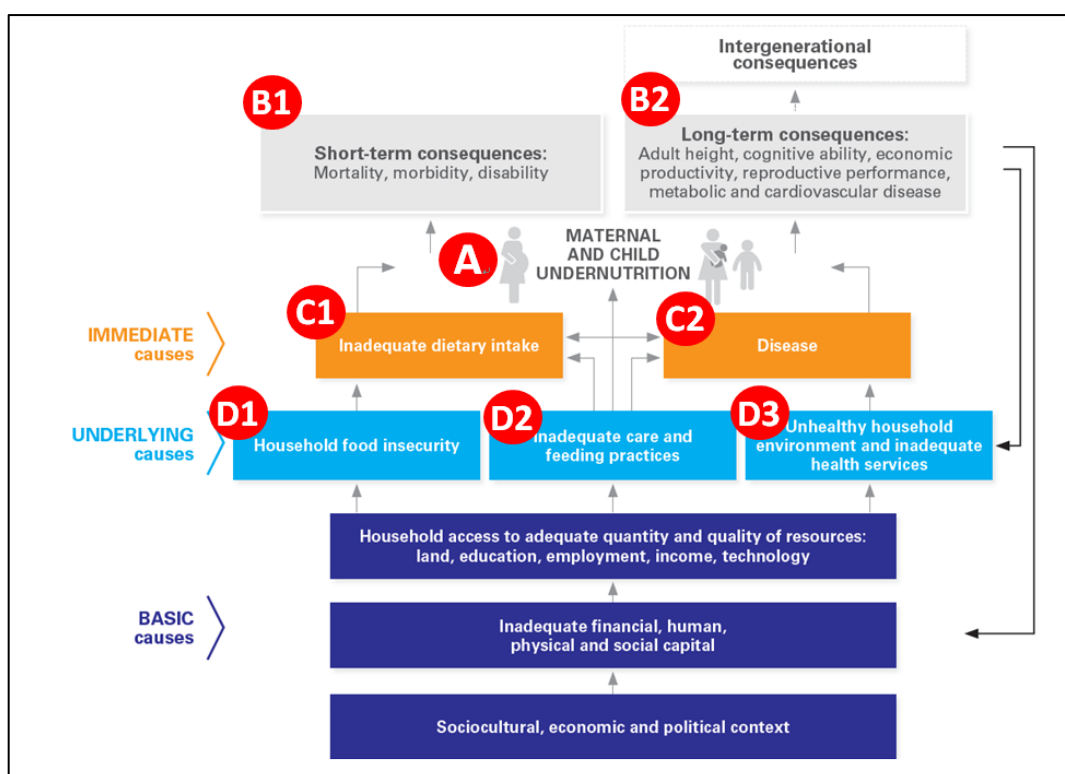
4. 研修概要

(1) 目的

- ① 国際的な栄養改善の潮流と栄養不良の概念的枠組み、途上国における低栄養の傾向及びその対策を理解する。
- ② 保健・農業・農村開発・水・衛生・教育等のセクター、あるいはセクター横断的な支援事業において、栄養対策の視点を入れた協力案の策定・実施に必要な知識を習得する。

(2) 研修カリキュラムの基本枠組み

本研修は、「低栄養の概念枠組み」(下図)に沿って実施します。本枠組みは、UNICEF が 1990 年に原案を考案し、改訂を経て国際的に広く用いられているものです。



(3) 日程

| 日 | 時間 | テーマ | 講師（予定） |
|--------------|-------------|--|---|
| 9月27日 （月） | 09:30-10:30 | 開講挨拶、自己紹介、オリエンテーション 「低栄養の概念枠組み」に沿った研修の進め方 | |
| | 10:50-11:50 | 母子栄養保健総論①(A+B1+B2+C1+C2) | JICA 国際協力専門員 野村 真利香 |
| | 13:00-14:00 | 母子栄養保健総論②(A+B1+B2+C1+C2) | JICA 国際協力専門員 野村 真利香 |
| | 14:20-15:30 | 栄養分野での JICA の協力（農業、保健、水・衛生） | |
| | 15:30-15:45 | 事務連絡／振り返り／質疑 | |
| 9月28日 （火） | 09:20-9:30 | 振り返り、連絡事項 | |
| | 09:30-10:30 | ケアと食、保健サービスへのアクセス（理論）（D2） | JICA 国際協力専門員 野村 真利香 |
| | 10:50-11:50 | ケアと食、保健サービスへのアクセス（実践）（D2） | JICA 国際協力専門員 萩原 明子 |
| | 13:00-14:00 | 水・衛生へのアクセス（D3） | JICA 国際協力専門員 緒方 隆二 |
| | 14:20-15:30 | 演習 | |
| | 15:30-15:45 | 事務連絡／振り返り／質疑 | |
| 9月29日 （水） | 09:20-9:30 | 振り返り、連絡事項 | |
| | 09:30-10:30 | 食料へのアクセス（理論）（D1） | 長崎大学 熱帯医学・ グローバルヘルス研究科 教授 相賀 裕嗣 |
| | 10:50-11:50 | 食料へのアクセス（実践）（D1） | JICA 国際協力専門員 仲田 俊一 |
| | 13:00-15:30 | 演習 | |
| | 15:30-15:45 | 事務連絡／振り返り／質疑 | |
| | 16:00-18:00 | グループワーク対象国現地実務担当者からのインタビュー ※1 時間程度（グループワーク担当国による） | |
| 9月30日 （木） | 09:20-9:30 | 振り返り、連絡事項 | |
| | 09:30-10:30 | 栄養分野におけるマルチセクターの取組みの考え方 | JICA 国際協力専門員 仲田 俊一 JICA 国際協力専門員 野村 真利香 |
| | 10:50-11:50 | グループワーク① | |
| | 13:00-15:30 | グループワーク② | |
| | 15:30-15:45 | 事務連絡／振り返り／質疑 | |
| 10月1日 （金） | 09:20-9:30 | 振り返り、連絡事項 | |
| | 09:30-12:00 | 各グループの結果発表 | |
| | 13:00-15:30 | 各グループの結果発表、ディスカッション | |
| | 15:30-15:45 | 修了式 | |

※本日程は、暫定版のため変更の可能性があります。

※演習の状況によっては各日 17 時頃まで延長することがあります。

※日程表中のアルファベットは、募集要項 4 ページの「低栄養の概念枠組み」の記載事項に該当。

※続けて 10 月 4 日（月）以降に農業分野のフォローアップ研修としてより詳細なツー

ルの説明等を行う予定です。別途、PARTNER で募集を行います。

(4) 講師紹介

野村 真利香 Ph.D., MBA JICA 人間開発部 国際協力専門員
博士(医学)取得後、医学部公衆衛生学教室助教、JICA イエメン栄養技プロ長期
専門家、ハーバード公衆衛生大学院武見国際保健プログラム研究員、国立保健
医療科学院主任研究官を経て現職。専門は栄養政策、公衆衛生、コミュニティ疫
学。栄養協力におけるマルチセクター／アクターの実践と枠組み構築を目指して
いる。

5. 応募方法

以下の(2)に記載されている提出書類を揃え、締切日までに JICA が運営
している国際キャリア総合情報サイト「PARTNER」(以下、「PARTNER」
という。)から応募してください。応募書類の受付後、応募時に「PARTNER」
で指定した本人連絡用 E メールアドレスに対し、受領通知メールと共に応募
案件番号(受付番号)を通知します。応募後、3 営業日以内に受領通知が届か
ない場合は、7 ページ「国際協力人材登録に関するお問い合わせ先」までご連
絡ください。

(1) 「PARTNER」への登録

応募はすべて「PARTNER」経由で行います。応募にあたっては「PARTNER」
に国際協力人材登録(簡易登録不可)がなされていることが必須ですので、登
録されていない方はまず「PARTNER」での国際協力人材登録を行ってくださ
い。

※新規登録手続きには、3 営業日程度を要しますので、お早めに登録くださ
い。

「PARTNER」の URL <https://partner.jica.go.jp/>

【PARTNER 登録の注意事項】

同じく入力フォーム 4 ページ目「プロフィールの公開」欄で「希望する」を選
択し、公開先には必ず「JICA」を選択してください。

(2) 応募書類

すべて所定の様式をご使用ください。所定の様式は、JICA ホームページ
(<https://www.jica.go.jp/recruit/kyokakenshu/top.html>) からダウンロードして

ください。①の履歴書についてのみ、PARTNER から書式をダウンロードして作成してください。

① 履歴書

応募に必要な「研修用履歴書」を「PARTNER」上で作成して提出してください（履歴書への写真添付は不要です）。一般履歴書など他の様式の履歴書は受け付けません。履歴書は、「PARTNER」ログイン後、マイページのメニューから作成できます。

② 推薦書

所属先のある方は必ず所属先の研修参加の了承を得てください。推薦書が用意できない場合は、その理由を記載してください。自営の方や所属先のない方は不要です。所属先にて応募者ご本人が代表を勤めている方も必要ありません。

③ 自己申告書

必ず所定の様式を使用して提出してください。なお、合理的な配慮が必要な方は自己申告書の該当項目（6項目目）に必ず記載をお願いいたします。

(3) 応募

応募期間内に「PARTNER」の応募画面から応募してください（予め応募書類をご準備ください）。

- ① 以下の URL から「PARTNER」にアクセスし、画面右上の“ログイン”をクリックして「PARTNER」にログインします。

「PARTNER」の URL <https://partner.jica.go.jp/>

- ② 「研修セミナー情報」画面から該当のセミナー情報を検索し、「この案件に応募する」をクリックしてください。
- ③ 上記（2）の応募書類を添付してください。

【国際協力人材登録に関する問い合わせ先】

独立行政法人国際協力機構 PARTNER 事務局

以下URL、PARTNERホームページの「お問い合わせ」からお願いします。

<https://jicaps.secure.force.com/inquiryedit>

6. 応募締め切り

締切日：2021年7月28日(水)

7. 選考結果の発表

応募書類を審査の上、2021年8月24日(火)を目途に、下記の「PARTNER」のマイページ上で合格者の応募案件番号（受付番号）を発表します。「PARTNER」にログインし、マイページの「PARTNER からのお知らせ」をご確認ください。書面による通知及び JICA ホームページ上では発表しません。

ご自身の応募案件番号（受付番号）は受領通知メール、又はマイページ「メールボックス」の「受信 BOX」で「【PARTNER】研修・セミナーへの応募送信完了のお知らせ」を参照ください。

なお、選考結果に関する個別のお問い合わせには一切お答え出来ませんので、あらかじめご了承ください。

「PARTNER」の URL <https://partner.jica.go.jp/>

8. 修了証の発給

全日程を修了された受講者へ、研修修了証書をお渡しします。

9. 参加費用

無料

10. 留意事項

- (1) 研修期間中の盗難、紛失、事故等については、JICA は一切責任を負いません。予めご了承ください。
- (2) 研修実施に影響を及ぼすため、合格後の辞退は出来るだけご遠慮ください。
- (3) 円滑な研修運営に支障を来す恐れがあり、受講者本人や他の受講者の不利益になると JICA が判断した場合は、その後の研修参加をお断りする場合があります。
- (4) 研修修了一定期間の後、研修後の国際協力事業へのかかわり等に関するフォローアップ調査をアンケート形式で実施しますので、回答にご協力願います。
- (5) 受講のために必要な経費は自己負担となります。
- (6) オンライン受講に必要となるPCや安定したインターネット環境(Wi-Fi 等)等は受講者でご準備ください。

以上

様式 1 推薦書

様式 2 自己申告書

—ご提出頂く応募書類の取り扱いについて—

提出書類は、選考の結果にかかわらず返却しませんので、あらかじめご了承ください。

【個人情報の利用目的】

当機構が収集した応募者の個人情報は、以下の目的で利用させていただきます。当機構は、ご本人の同意を得ないで、この利用目的の達成に必要な範囲を超えて応募者の個人情報を利用いたしません。

1. 当機構が能力強化研修の受講者の選考を行うため
2. 当機構の研修実施にかかわる、各種情報(セミナー・イベントやホームページの案内等)や、人材募集情報の提供や連絡等を行うため
3. 応募者についての統計、データ分析を行うため
4. 研修の修了後、研修修了者へ能力強化研修の成果の活用状況について照会し、この結果を統計データとしてまとめ、将来的な研修カリキュラム改善に活かすため

【個人情報の取扱いについて】

当機構は収集した個人情報を当機構の責任のもとで適切に管理し、研修の受講に至らなかった場合は、当機構の責任のもとで適切に廃棄致します。この場合、書類の返却は致しておりませんのでご了承ください。

【応募に関する問い合わせ先】

独立行政法人国際協力機構 人事部開発協力人材室(研修管理室)
〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町 10-5 JICA 市ヶ谷ビル
TEL: 03-3269-3471 E-mail: hrgtc@jica.go.jp